

# 図書館通信

静岡大学附属図書館報

No. 152



2005.12

- シリーズ“素晴らしい本の世界” ● 教員等著作寄贈図書一覧 ● シリーズ“!” 第19回 LexisNexis Academic
- セミナー報告 ● 大会・研修参加報告 ● 図書館の動き ● 開館日程 (12月～3月)



## タイムトンネルの館で



半田 智久

「素晴らしい本の世界」というこの題目は心ときめくタイトルだ。なぜ、ドキドキするのだろうか。よくわからないけれども、本というものは何やら流動する精神が文字にフリーズしてあって、表紙を開いて読み出すと、自然と融解して再びその精神が動き出すような、そんな魔法の物体のようで、そうして流れ出した精神に、己の精神が絡みあい、自分のなかに新たな意識が生まれて驚いたり、つき動かされたりする、そんな経験がしばしばあるためだろう。ときにそうした体験が自分の希望に発展したり、歩む方向を定めてしまったりする。だから、本の表紙はまさに素晴らしい世界への扉というにふさわしいと思える。

むろん、劇的な出会いはそうたびたびあるわけではない。でも、いつあるかわからず、しか

しいつかきっとある、といえそうな種類のものである。それだけに、ちょうど死すべき運命にある者たちがつ、その運命にも似た魔力があるとも感じられる。そんな具合にみても、図書館というのはつくづく凄い場所である。めくるめく世界への扉が時を超えて無数に並び、そのどこかに運命の扉がいくつかあるわけだから。それはいわばタイムマシン、いや昔、確か1960年代に『タイムトンネル』という魅力的な米国テレビ劇映画があったが、ほとんどそれに似た機能をもつ場所といえそう(かのトンネルはアリゾナ砂漠に造られた800階建ての研究施設に設置されていたのだが)。

現代のようにあらゆることに過剰な世界で生きてみると、なんとなく息をしているだけでもあれこれの明滅が飛び込んできて十分な刺激や

義務に晒されて過ごしていける。だから、たとえ自分がしたいようにできるという恵まれた自由を手にしても、何をしたらよいかわからないとか、興味をもてることがみつからない、といったつぶやきも出がちだ。そんな贅沢な悩みをもてたときは「どこでもドア」だらけの館で、気ままにいろいろな扉を開いてみるのがお勧めだ。

もっとも古代ローマ・ストアの賢人は現代に比べればずっとシンプルに違いなかった社会にあってすでに、どこにでもあるということはどこにもないことと同じだ、といった警句を発していた。これは昨今かまびすしいユビキタス社会の貧困性に向けて遙か数千年の彼方から届けられた実に鮮度の高いことばだが、それを敷衍すれば、どこにでもいける場所は仕方ひとつで、実はどこにもいけていないいつもの場所になってしまう、ともいえる。

それはたいへん、では、ひとつお勧めのドアを教えてくださいませんか？ コミュニケーション辞令だろうが、このような話をしていると、よくある問いかけだ。だが、少なくとも自分の体験の限りでは、他人から勧められた本は、確かによい本だと理解できても、自分にとってだいじになった本はほとんどなかった。人が勧める「旨いもん」が必ずしもそうでなかったりすることと同じかもしれない。また、そういうざれが感じられると、ちょっとさみしい思いもしてしまう。結局、わたしたちは同じ人間で似たもの同士と思っているけれど、思いの外、違っているのだろう。だから、世の中、おもしろくてかなしいことが多いのかもしれない、などとあらぬ方向へ発展していってしまう。よって、知らない読者に対してお勧めのドアを語ることは、ほとんど占い師的気分を要することのように思う。

若いときに読んでおいたらよい本、などというの（わたしもいくらでもあげたい欲は正直あるのだけれども）、そういうものはだいたいのところ、人生も下り坂になったときに登って

いるときに読んでおけば、という後悔を含んで発せられるのではないかと自省し、ついで自制する。言い換えると、それは自分ができなかったことを相手に勧めるのだから、経験的には生きた勧めにならない。

それじゃあ、あなたあんまりさみしいじゃありませんか、という声もありそうだから、ドイツの憎いほどかっこいい哲学者が書いた本のなかにあった本稿の前半で述べたことに留保をつけるような印象深い語りをひとつ紹介しておく。彼は読者に対してこう言い放っていた。読書ばかりしていても仕方ありません。自分で考えなくては話になりません。思索することと読書とは全然ちがうことです。読書だとか、ものごとを学ぶなんてことは誰にでもできる。けれど、思索すること、よく考えることは思いの外、簡単にはできない。そうしようと思ったって読書のごとくできることじゃない。だから、少なくとも世界のなかを進んでいく意志をもつのなら、あなた、そんなふうを読むことなんかもうやめて、考えなさい。

彼がかっこいいのは、こんな具合に、そういうことを文章のおわりのほうで書くのではなく、冒頭のほうで書いていたからである。

(大学教育センター)

※ 本文では図書の紹介はしていませんが、先生からはつぎのような一群の扉を開けてみると何かみつかるかもしれないよということでした。

[通信編集委員]

- キケロ選集 (岩波書店)  
静・開 [131.8/C71/1-16]
- セネカ哲学全集 (岩波書店)  
静・開 [発注中]
- ショーペンハウアー全集 (白水社)  
静・開 [134.57/SC6/1-15]
- ニーチェ全集 (白水社)  
静・開 [134.922/N71/1(1)-2(12)]  
浜・開 [134.9/N71/1(1)-2(12)]

## ～教員等著作寄贈図書一覧～

このリストは本学教職員により著作(等)され図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。(各館五十音順)

## ●本館受入

- ◇荒川紘 (人文学部)  
・東と西の宇宙観(西洋篇)(東洋篇)紀伊国屋書店  
開架[112/A63] <著>
- ◇今井駿 (人文学部)  
・重慶国民政府史の研究 東京大学出版会  
閉架[222.075/I75] <執筆>
- ◇小和田哲男 (教育学部)  
・山内一豊:負け組みからの立身出世  
PHP研究所 開架新書[289.1/Y390/S] <著>  
・戦国の女性たち:16人の波乱の人生  
河出書房新社 開架[281.04/O93] <編著>  
・日本の城ハンドブック 三省堂  
開架[210.04/N77] <監修>
- ◇熊野善介 (人文学部)  
・平成16年度静岡エネルギー環境教育研究会最終  
報告書 静岡エネルギー環境教育委員会  
閉架[375/S19] <研究会代表・執筆>
- ◇小西茂毅 (名誉教授)  
・日本茶の魅力を求めて:本物のお茶・宇治茶とこ  
れから 大河書房 閉架[619.8/KO75] <編著>
- ◇橋本誠一 (人文学部)  
・在野「法曹」と地域社会 法律文化社  
閉架[327.02/H38] <著>
- ◇橋本剛 (人文学部)  
・ストレスと対人関係 ナカニシヤ出版  
開架・閉架[361.4/H38] <著>
- ◇藤原靖名 (名誉教授)  
・随筆集こはぜの環 [藤原靖名] 閉架[914.6/F68]  
・随筆集ゆとり心は鉄道にも [藤原靖名]  
閉架[914.6/F68]
- ◇楊海英 (人文学部)  
・游牧世界 民族出版社 開架[389.26/MA73/T] <著>  
・チンギス・ハーン祭祀:試みとしての歴史人類学  
的再構成 風響社 開架[386.226/Y72] <著>  
・モンゴル草原の文人たち:手写本が語る民族誌  
平凡社 開架[389.227/Y72] <著>  
・成吉思汗祭礼 [モンゴル図書] 内蒙古文化出版社  
閉架[386.226/Y72/T] <著>  
・内モンゴルのアルジャイ石窟の壁画(1)  
雑誌『アジア研究』 No.1 (2005.3) <執筆>

- ◇森正一 (退職教員)  
・森正一画集 森正一画集刊行委員会  
閉架[723.1/MO45]

## ●分館受入

- ◇内田重男 (工学部)  
・化学工学:解説と演習 槇書店  
開架[571/KA16] <執筆>  
・The Seventh Asian Conference on Fluidized-  
Bed and Three-Phase Reactors, November  
28-30, 2000 Hamanako, Shizuoka, Japan.  
Shizuoka University 開架[571/F35/2000] <Ed>  
・廃棄物処理・再資源化技術 シーエムシー出版  
開架[518.52/H15] <執筆>  
・化学工学:解説と演習 槇書店  
開架[571/KA16] <執筆>
- ◇立元雄次 (工学部・教務職員)  
・初歩から学ぶ乾燥技術 工業調査会  
開架[571.6/N37] <共著>
- ◇八巻直一 (工学部)  
・非線形計画法 朝倉書店開架[417/Y11] <共著>  
・問題解決のためのAHP入門:Excelの活用と実務  
的例題 日本評論社 開架[336.1/Y28] <共著>
- ◇Mordecai George Sheftall(情報学部)  
・Blossoms in the wind:human legacies of the  
kamikaze NAL Caliber 開架[210.75/SH14] <著>
- 本館・分館共通受入
- ◇久保英雄 (人文学部)  
・歴史のなかのロシア文学 ミネルヴァ書房  
静・開架・閉架/浜・開架[980.2/KU11] <著>
- ◇佐藤宏樹 (理学部)  
・「論理力が身につく」図形パズル70 祥伝社  
静/浜・開架[798/SA85] <共著>
- ◇佐藤誠二 (人文学部)  
・国立大学法人財務マネジメント 森山書店  
静・閉架/浜・開架[377.1/SA85] <著>
- ◇浜渦辰二 (人文学部)  
・<ケアの人間学>入門 (静岡大学人文学部研究  
叢書) 知泉書館 静/浜・開架[490/H26] <著>  
(6頁へつづく)

法情報だけじゃない！！いろんな学部の方、必見！！

シリーズ “！” 第19回

# LexisNexis Academicで世界のニュースを知ろう！！

現在、法科大学院の開設に伴い、複数の法情報データベースが利用できるようになっています。今回のシリーズ “！” ではその中の、LexisNexis Academic について紹介します。

## LexisNexis Academicでこんなものが読めます！

ニュース、ビジネス、企業、世論調査、法律情報を提供します。具体的には・・・

- 世界の主要な新聞の社説を特定のテーマで検索、
- アメリカのTV (CNN, FOX, ABC等) 報道番組より生の時事英語にふれる、
- 有名な米国政府高官や政治家による演説の全文を入手する、
- フランス、ドイツ、スペイン、イタリア、オランダの新聞を現地語で読む
- 企業の財務諸表を読む、
- 米国世論調査、米国特許を調べるなど・・・

図書館HP「●電子情報 データベース」をクリック→学内で使用できる主要なデータベース [LexisNexis Academic](#) をクリック

### (Newsの検索例)

The screenshot shows the LexisNexis Academic search page. On the left is a 'Quick Info' sidebar with categories: News, Business, Legal research, Medical, Reference. The main area is titled 'Quick News Search' and contains five steps:

- Step One: Select a news category -- Entry Required**: A dropdown menu for 'Select a News Category'.
- Step Two: Select a news source -- Entry Required**: A dropdown menu for 'All Available Documents' and a 'Source List' link.
- Step Three: Enter search terms -- Entry Required**: Three input fields for search terms, each with a dropdown for search scope (e.g., 'in Headline, Lead Paragraph(s), Terms').
- Step Four: Narrow to a specific date range -- Optional**: Radio buttons for 'Previous six months' and 'From: To:' date range.
- Step Five: Search this publication title(s) -- Optional**: An input field for publication titles.

Callouts provide instructions: 'プルダウンメニューからニュースのカテゴリとニュースソースを選ぶ。' (Select news category and source from dropdown menu), 'キーワードを入力' (Enter keywords), and '必要に応じてキーワードの場所を指定したり、検索期間の選択、出版物のタイトルを入力。' (Specify keyword location, select search period, and enter publication title as needed).

News	世界各国の新聞、雑誌、通信記事、ニュースレター、テレビの放送内容などを中心とした多言語の媒体を収録
Business	ビジネス誌、企業情報、産業ニュース、SEC関連書類等
Legal	米国(連邦、州)判例、法律、規則、ローレビュー、リーガルニュース、米国特許、EUジャーナル等
Medical	医療関連ジャーナル等
Reference	人物情報、世論調査、世界各国データ等

**例えば・・・2005年7月にライス米国務長官が来日し、受けたインタビューの内容を英語で読む**

**Federal News Service**

**July 12, 2005 Tuesday**

**SECTION:** STATE DEPARTMENT BRIEFING

**LENGTH:** 1547 words

**HEADLINE:** INTERVIEW WITH SECRETARY OF STATE CONDOLEEZZA **RICE** (AS RELEASED BY THE STATE DEPARTMENT)

INTERVIEWER: ATSUSHI HATAYAMA, NIPPON TELEVISION

LOCATION: TOKYO, **JAPAN**

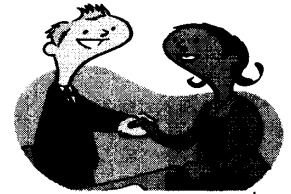
**BODY:**

MR. HATAYAMA: Let me go directly regarding to the question. Why do you think that North Korea has decided to come back to the six- party talks?

SEC. RICE: I believe that the North Koreans are finally recognizing that the entire world, and particularly their neighbors, are saying to them that the only course open to them is through the six-party talks to deal with the issue of their nuclear weapons program. This is really the concerted effort of all of the members of the six-party talks: the

初めに情報源、年月日、区分、長さ、見出し(項目)が最初に掲載される

ここからが本文



Category は [News Transcripts] を選択、Source は [All Transcripts] を選択  
 Keyword を [Rice] と入力し、出てくる場所に [headline] を選択、  
 Keyword を [Japan] と入力し、出てくる場所に [headline, Read paragraph(s), Terms] を選択  
 Keyword を [interview] と入力し、出てくる場所に [headline, Read paragraph(s), Terms] を選択  
 期間は Previous six months を選択  
 検索し、一覧より該当のものをクリック

**米国の法情報には Lexis.com!**

Lexis.com は米国の法情報を検索できる研究者向けデータベースです。利用の際に利用者登録が必要です。登録をすると学外からでもデータベースを利用することが可能です。利用者登録の対象は院生、教職員です。利用者登録を希望される方はレファレンスカウンタにご連絡ください。学部生の方で利用を希望される場合は平日 9 : 00~17 : 00の間にレファレンスカウンタにお越し下さい。

**Lexis.com では、こんなことができます!**

- 米国の判例、法令、二次資料の検索をする、ローレビューを読む、判例の書報
- 関係や引用状況、評価を調べる、 特許番号から引用されている判例、論文を探す、
- 法令をACT名から検索する、EU規則、指令を検索する、 など



図書館HP「●電子情報 データベース」をクリック→学内で使用できる主要なデータベース [Lexis.com](http://Lexis.com) をクリック

まだまだ他にも図書館HPから使えるデータベースがあります。ぜひ一度図書館HPを見て、使えるデータベースを見つけてください!!

※シーズンの

# セミナー・データベース利用説明会を開催しました!

今年度からの新しい試みとして、下記の日程で秋シーズンのセミナー・データベース利用説明会を企画しました。

図書館利用セミナー中級編は、春に実施した「資料探索編」のさらにレベルアップしたもので、3, 4年次生と院生を対象に行い、論文作成のための文献収集法やその他の図書館活用法を紹介しました。

データベース・電子ジャーナル利用説明会は、図書館が発信する電子情報サービスの習得を目的

としています。

学外から専門の講師を招き、基本操作や便利な機能の紹介など、検索実習を交えながらわかりやすく解説していただきました。

データベース・電子ジャーナル利用説明会はこれまで定例開催ではありませんでしたが、実施時期やデータベースの種類など、参加された方の意見を取り入れつつ、毎年継続していきたいと考えています(詳しい報告は次号に掲載します)。

- ★10/17~21 図書館利用セミナー中級編    ★10/27,28 ①Lexis.com ②LexisNexis Academic 利用説明会  
 ★11/1 LEX/DB 利用説明会    ★11/11 PsycINFO 利用説明会  
 ★11/18 (静岡), 11/17 (浜松) SciFinder Scholar

## 平成17年度文献検索ガイダンス実施報告 (浜松分館)

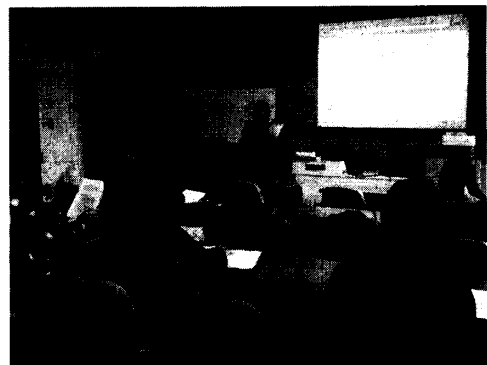
浜松分館では、10月3日~10月28日の期間において、学部3・4年生および大学院生を対象に文献検索ガイダンスを行いました。申し込み制で行ったところ、11回の開催で計58名の学生、院生、教職員が参加されました。

ガイダンスでは、1. 文献入手法の説明 2. 各種データベース・電子ジャーナルの説明 (JDream, GeNii, MAGAZINEPLUS, SciFinder Scholar, 新聞検索 等) 3. 検索実習 4. 書庫案内 を行いました。

ガイダンスの最後アンケートにご協力いただいたところ、多くの方から、「満足した」「卒論の役に立つ」といった意見をいただきました。特にガイダンスの広報について聞いたところ、研究室の教員からの指示で参加する学生が多いことがわか

りました。また、今後の広報はメールや教員からの指示が有効であるのご意見もいただきました。これからの参考にしていきたいと思えます。

参加者の皆さんには、このガイダンスを今後研究・論文作成に役立てていただければと思います。



教員等著作寄贈図書一覧 (3頁よりつづき)

◇楊海英 (人文学部)

- ・アルジャイ石窟1号窟出土モンゴル語古文書に関する歴史人類学的研究(科研費補助金成果報告書)  
 静・閉架/浜・開架[222.6/O67] <著>

- ・The changing paradigm of Mongolian studies.  
 International society for the study of the culture and economy of the Ordos Mongols  
 静・閉架/浜・参考図書[302.227/KO71] <執筆>

## 図書館大会・研修会参加報告

### 平成17年度静岡県図書館大会参加報告

開催日：平成17年10月17日（月）

開催場所：グランシップ

午前：開会式、表彰式、情勢報告のあと、ライブトーク「地域の情報ハブとしての図書館 ～新たな図書館サービスの潮流～」がありました。

特に図書館を社会と行政にアピールする、という鳥取県立図書館の取り組みについては、大学図書館の将来に対しても多くの示唆に富んでいるお話しだったと思います。

これからは図書を貸し出すだけでなく、図書・雑誌・新聞・インターネットの情報など様々なメディアを全て含めた情報提供サービスをしていくべきであり、図書館が社会にとって重要であるということをもっとアピールしていくことが大切だということでした。

午後：第8分科会「大学図書館をシャブリ尽く

そう！～知の宝庫の賢い利用方法～」に参加しました。

大学図書館に期待することを、公共図書館の立場、市民の立場からの意見発表と、大学図書館の地域開放への取り組みの紹介がありました。

静岡大学でも地域への公開事業として、貸出サービスや公開講座などを実施してきたのですが、やはりまだ一般の方にとっては敷居の高い場所であるのだなと感じ、まだまだ努力しなくてはならないと思いました。

大会には多くの図書館関係者が参加され、普段少人数で仕事をしている私にとっては、これだけ多くの図書館関係者、ボランティアの方々が日々努力されていることを目の当たりにすることができ、非常に有益な一日となりました。

（報告者：学術資料スタッフ 竹村寛子）

### 平成17年度公立図書館等職員専門研修（大学専門図書館研修）参加報告

開催日：平成17年9月27日（火）

開催場所：本学大学会館

研修では「図書館における危機管理」、「大学図書館の一般公開—静岡大学附属図書館の取り組み」の二講演がありました。そのうち「危機管理」に絞って報告します。

講演者は公共図書館の危機の現状としてマナー違反を示され、親子づれからホームレスまで幅広い利用者への対応事例を報告されました。そして危機管理の備えとし、リスクマップ作成と安全マニュアルの作成が必要となるが、その制作過程がもっとも重要となり全職員の危機管理への認識が大切である。また、安全管理のため利用者教育（図書館のアカウントビリティ）も必要であると述べられました。

一般市民への公開をしている今、学内者のみならず学外者の問題もクローズアップされつつあります。危機対応マニュアルは、大学として「事故処理マニュアル」と、図書館の「事故・災害非常時マニュアル」が作成されています。

このほかの危機とし、問題行動を一過性の問題と捉えてしまえば対策に生かされずに終わってしまうこととなる。しかし、問題行動（マナー違反）が、他の正当な利用者の権利や図書館サービスを妨げるものであるという認識のもとに、上記マニュアルだけでなく日常起こりうる問題行動についても、利用者への“権利と義務”の説明とともに、対応マニュアル作成が必要なのではと考えさせられました。

（報告者：利用サービススタッフ 横山芳美）

## 図書館の動き .....

### ◆会議

#### 第52回国立大学図書館協会総会

<平成17年6月30日（木）於：名古屋大学豊田講堂>  
附属図書館長、学術情報部長、情報管理課長、情報サービス課長が出席。

97大学・機関が出席し、協会活動についての経過報告に続き平成16年度決算報告、平成17年度事業計

画(案)・予算(案)などについて協議が行われた。また、文部科学省研究振興局情報課長から、当面の学術情報推進施策、平成18年度概算要求、学術情報流通施策、平成16年度大学図書館実態調査結果報告などについて所管事項説明があった。

午後からは、テーマごとにワークショップが行われ、今後の図書館経営について、電子ジャーナルなどのデジタルコンテンツに関する諸課題について、NACSIS-CAT/ILLの課題解決に向けて、3つのテーマについて活発な議論が行われた。総まとめの全体会議では、各ワークショップでの協議内容が紹介され、NACSIS-CAT/ILLの課題解決に向けては、一定の方向性が決議されたとの報告が了承された。

- 4) 休館及び閲覧室の利用制限について (本館)
- 5) 学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備の在り方について (中間報告に向けて)

**平成17年度第2回静岡大学附属図書館委員会**

平成17年7月8日 (金)

○審議事項

1. 平成16年度図書館経費決算について
2. 平成17年度図書館経費予算(案)について
3. 平成17年度学生用図書購入費の配分(案)等について

○報告事項

1. 附属図書館利用状況について
2. 平成17年度附属図書館利用セミナーの実施について
3. 平成17年度創立記念日における図書館一般公開イベントについて (報告)
4. 研究室貸出図書の点検予定について
5. その他
  - 1) 2005年度電子ジャーナル経費・関連出版社購読状況
  - 2) 平成17年度 二次資料データベース経費
  - 3) 電子ジャーナル&二次資料データベース利用状況について

**平成17年度静岡県大学図書館協議会総会**

<平成17年7月28日 (木) 於: 常葉学園大学 >

附属図書館長、情報サービス課長、図書館専門員が出席。

18館から21名が参加し、平成16年度決算報告(案)及び同監査報告、平成17年度事業計画(案)及び同予算(案)などについて協議が行われた。また、設置形態が異なる図書館ごとに、図書館活動や協議会活動などについて状況報告があり、加盟館相互の連携を深める上で有意義な情報交換が行われた。また、大学ネットワーク静岡の「図書館連携」企画分科会報告とともに、大学ネットワーク静岡の動向と静岡大学附属図書館の取組について報告が行われた。

引き続き、常葉学園大学金両基客員教授による、「家康の平和外交-朝鮮通信史」と題した有意義な講演が行われた。

◆組織編成替

平成17年10月1日より事務組織が課・係制からチームスタッフ制に替わりました。

附属図書館は「図書館情報チーム」となり、「図書館マネジメントスタッフ」「学術資料スタッフ」「利用サービススタッフ」の3つのスタッフ編成となりました。

**開館日程 [2005年12月~2006年3月].....**

12月							2006年1月							2月							3月											
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
				1	2		1	2	3	4	5	6					1	2	3					1	2	3						
	5	6	7	8	9					10	11	12	13			6	7	8	9	10					1	2	3					
	12	13	14	15	16					16	17	18	19	20	21			13	14	15	16	17				6	7	8	9	10		
	19	20	21	22						22	23	24	25	26	27			20	21	22	23	24	25				20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31				30	31						27	28							26	27	28	29	30	31		

- ※ 開館日・開館時間は変更されることがあります。臨時に休館する場合は別途お知らせします。
- ※ 3/22~3/31は蔵書点検のため休館いたします。
- ※ 12/17は浜松分館のみ13時開館となります。

● 冬休みの長期貸出を実施します

平成17年12月9日 (金) から26日 (月) までに貸出した図書の返却期限日は

平成18年1月13日 (金)

□	平日開館 9:00~22:00
■	休日開館 (土・日・祝日・振替休日) 9:00~19:00
□	平日開館 (冬季休業期間中) 9:00~17:00
■	休館

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第152号 (平成17年12月1日発行)

発行所 静岡大学附属図書館 URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

Tel.054-238-4477 Fax.054-238-5408 (再生紙使用)

